

平成25年6月30日  
今週のベストショット



青松園B ブルーマーリンズ対ソルトベイスターズ戦

ソルトベイスターズ八柄（やがら）直輝選手の投打にわたる活躍により、見事逆転勝利！

写真：新町ウインズ 早田主大

青松園B ソルトベイスターズ鮮やかな逆転勝利!!

ブルーマーリンズ（1勝3敗0分）5 0 0 0 0 5 綱脇●-中村

ソルトベイスターズ（2勝1敗1分）4 4 2 3 × 1 3 八柄○、鶴野-中村(健)、酒井

HR：中村(耕)、八柄(ソルト) 足立(ブルー) 3 BH：鶴野(ソルト) 2 BH：八柄(ソルト)

盗塁：中村(健) × 5、中村(祐) × 2、森(ソルト)

一回表ブルーマーリンズは相手のエラーや七番足立選手のHRなどで一気に5点を奪う。反撃に転じたいソルトベイスターズは一回裏先頭打者の中村(健)選手のレフト前安打をきっかけに怒濤の四連打などで4点を返すと二回から立ち直ったソルト先発の八柄投手が踏ん張りBマーリンズの攻撃を封じていく。二回裏にもソルトの勢いは止まらず中村(健)選手、中村(祐)選手の一・二番コンビの脚を絡めた攻撃で更に4点を追加し逆転に成功。四回裏ソルトは代打中村(耕)選手とこの試合3安打目となる八柄選手のHRで勝負あり。Bマーリンズも五回表、五番糸井選手、六番尾田選手の出塁でチャンスを作り監督小柳選手の代打俺登場で盛り上がったが内野ゴロに打ち取られ試合終了。初回こそ浮き足立ち失点をしてしまったソルトだったが、積極的な盗塁などで相手の守備陣を翻弄して終わってみれば大差をつけた快勝だった。一方のBマーリンズはチャンスが無かった訳ではなかったが、あと1本が出ず悔しい敗戦となった。(記事：新町ウインズ 野中一史、写真：早田主大)



Bマーリンズ試合前ミーティング。2連勝なるか。



悪コンディションながら整備がなされ試合前整列。



ソルトベイスターズ先発八柄投手。



盗塁王へ爆進中、5盗塁のソルト中村健一選手。



初回にホームランを放ったBマーリンズ新人足立選手。



果敢にホームを狙う。



ファールライン際でボールを処理するソルト田中一塁手。



足元の悪い中バント処理をするソルト内野手陣。



三遊間の当たりを好捕するBマーリンズ末松遊撃手。



三塁手をバックアップする末松遊撃手。



交錯プレーで落球。まわりの選手が声を掛ければ防げたか？



好リリーフのソルト鶴野投手。

### 青松園A チームのアイドル、レッドサンデーズ田村選手が大活躍！

レッドサンデーズ (2勝3敗) 4 2 3 1 1 0 土師○田中一前田  
 三苦三球会 (1勝2敗) 2 2 0 0 4 原口●、堺達也一仲村、山崎

3BH: 田村(レッド) 2BH: 田中、田村(レッド) 藤澤、堺太一(三球会)

一回表、制球の定まらない三球会原口投手は、四球で塁を埋めWP等で4点を献上。その裏三球会も三・四番の連続タイムリー二塁打で2点を挙げ流れを取り戻そうとするも、六番堺達也選手の痛烈なピッチャー返しはレッド土師投手の好捕に阻まれる。二回表、三球会は原口投手から堺達也選手に途中交代するも流れがつかめず失点してしまうが、二回裏負けじと三球会も三番藤澤選手のタイムリー等で追いつがる。三回以降、ここからはレッド田村選手の独り舞台。三回表二死ランナー無しから3点への足掛かりとなるレフト線三塁打を放つと、次の打席にはタイムリー二塁打で大当たり。守っても最終回難しいフライに美技が飛び出し試合終了。田村選手にとって気持ちの良い1日になったことでしょう。(記事、写真: 奈多クラブ 吉田貴史)



調子が悪いなりによく抑えたレッド先発土師投手。



三球会先発の原口投手は制球に苦しんだ。



レッド田村選手のトリッキーな走塁がミスを誘う。



田村選手が隙をついてホーム突入するもここはアウト！



二回表途中から三球会二番手塚達也投手が登板。



三回表、レフト線を抜ける三塁打を放ったレッド田村選手。



三回表、レッド前田選手が一瞬早くホームイン。



三回表、4点目のホームを突くレッド田中選手はタッチアウト。



しっかり球を見て、タイムリー二塁打を放ったレッド九番田村選手。



土師投手をリリーフして最終回を締めたレッド田中投手。

## 雁レク6 投打が噛み合い、昨年覇者フェニックス大勝！

奈多フェニックス（3勝1分）106101 18 砂場○-実延（新）

三友クラブ（1勝2敗1分）00000 0 福山●、坂本、福井-柿崎、広瀬

HR：今林文彦、今林英二（奈多フ） 3BH：西藤（奈多フ） 2BH：西藤、今林心一（奈多フ） 初田（三友）

盗塁：西藤（奈多フ）

奈多フェニックスは初回、三友クラブ先発福山投手の制球難により連続四球で満塁にすると、五番砂場選手の打球はレフトへ。しかしこれをレフトが落球してフェニックスが先制すると、その後もタイムリーエラーやヒットなどで初回だけで10点を奪う。一方、フェニックス砂場投手は三友クラブ打線を前に圧巻のピッチング。四回に三友クラブ柿崎選手によってノーヒットノーランは阻止されるも、最終的には2安打完封と堂々たるピッチングだった。フェニックスは二回以降も攻撃の手を緩めることなく、終わってみれば13安打18得点とフェニックスの大勝であった。（記事、写真：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭）



二回表、レフトへ適時二塁打を放つフェニックス西藤選手。



三友クラブ先発福山投手。



三友打線を2安打完封に抑えたフェニックス砂場投手。



懸命に伸びて送球を受けるフェニックス今林孝一塁手。



ノーヒットノーランを阻止した三友クラブ柿崎選手。



本塁打を放ち18点目のホームを踏む今林英二選手。

## 雁レク7 ホーネッツの中軸打線爆発！！

塩浜ジャガーズ（2敗1分）00000 0 内田●一堀内

三苫ホーネッツ（2勝1敗）20240 8 井出○、矢野一松尾

HR：三浦、松尾（三苫ホ） 2BH：稲葉、松尾（三苫ホ）

盗塁：田中（塩浜ジ） 矢野、山崎、稲葉、三浦（三苫ホ）

初回塩浜ジャガーズは、一死から二番内田、三番立石選手の連続ヒットでチャンスを作るも後続が断たれ無得点に終わる。その裏のホーネッツは、一死から二番山崎選手がショートエラーにより出塁すると、この日3安打と絶好調の三番稲葉選手、四番三浦選手の連続ヒットにより2点を先制。二回以降ジャガーズも毎回ヒットを打ち走者を出す、要所をホーネッツ井手投手に抑えられ苦しい展開が続く。一方ホーネッツは、二回裏こそ無得点に終わったが、三回は松尾選手の二塁打などにより2点を追加し四回のビッグイニングを迎える。一死から二番山崎選手のサード内野安打を皮切りに、三番稲葉選手の二塁打、四番三浦選手の2ラン、五番松尾選手の連続ホームランと、この回一挙4点を追加し勝負を決めた。この試合は、ホーネッツの中軸打線がきちりと得点を重ねる攻撃展開で、投げては井手投手が要所を締め、守備陣もノーミスと理想的な試合運びであった。

（記事、写真：新町パイレーツ 石橋登）



早朝の雨でグラウンドコンディションが心配された。



しっかり要所を抑えたホーネッツ井手一松尾バッテリー。



中軸打線には捕まったジャガーズ内田投手。



敗れはしたが、この日2安打と打撃好調のジャガーズ三番立石選手。



3安打と絶好調、ホーネッツ三番稲葉選手。



2ランHRおめでとう！ホーネッツ四番三浦選手。



連続HRさすがです！ホーネッツ五番松尾選手。



写りたがりの仕事人のホーネッツ塚巖生選手。

## 第7週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

未明から降り出した雨に、試合が出来るのかどうかやきもきしながらも、各審判チームの努力で4試合が無事行われました。

青松園Bのブルーマーリンズ対ソルトベイスターズ戦は、前回の勝利で気をよくしたBマーリンズが5点を奪い幸先よくスタートしたかに思われましたが、その裏一気に4点を返されると二回にも4点を奪われあっさり逆転を許し、ズルズルといつもの流れで終わってみれば5-13でソルトが見事逆転勝利。私は隣のAグラウンドで見ましたが、もしかしてBマーリンズの連勝？か接戦だろうなと思っていたら、意外な大差にビックリしました。ソルトの八柄選手は最初に四球や味方エラーなどで5失点しましたが見事立ち直り、打ってもHRを含む3打数3安打と大活躍。試合前半はソルト上位打線が、後半は下位打線が安打を放ち理想的な試合展開だったようですね。

青松園Aのレッドサンデーズ対三苦三球会戦は、三球会の絶対的エース吉留投手が不在のため原口選手が先発するものの、初回5四球で4点を献上。その後も制球難が続き、代わった塚達也選手も一度渡ったレッドの流れを止めるには至りませんでした。連勝を狙うレッドには願ってもないチャンスにチームのアイドル九番田村二塁手が応えました。積極的な走塁に加えて、チャンスメイクにタイムリーと八面六臂の活躍！投げては決して調子が良いとは言い難かった土師投手が丁寧にコースを突けば野手も応え、最後は田中投手が締めました。全員が

それぞれの活躍をしたレッドが連勝を飾り、三球会は痛い星を落としましたね。

雁レク6の奈多フェニックス対三友クラブ戦は、初回から一方的な展開でディフェンディングチャンピオンのフェニックスが18-0で大勝。三友クラブも大黒柱の足立投手の不在で代役の福山投手でしたが、初回から四球を与えてフェニックス強力打線に捕まり10失点。フェニックスは投げて初戦以来の先発となった砂場投手が2安打完封。力の差を見つけた試合でした。

雁レク7の塩浜ジャガーズ対三苦ホーネッツ戦は、両エースの明暗が分かれました。ジャガーズ内田投手は、4本の長打を含む12安打を浴び8失点。一方ホーネッツ井手投手は6安打を浴びるも無失点で長打を一本も許していません。好投手の陰には好捕手あり。リード、打撃で投手を盛り立てるホーネッツ松尾捕手にも注目してほしいと思います。またホーネッツの四番を任された三浦選手も2安打1HR3打点1犠打1盗塁と活躍。4人までの20代枠の縛りでなかなか先発出場が叶わない中、しっかりアピールしました。

雨中や雨上がりの濡れたグラウンドの場合の対策等は話し合っているでしょうか？事前に連携を取り合い、声を掛け合うのは普段の試合以上に必要です。

また的確な指示出しをするのは何もグラウンド上の選手だけの仕事ではありません。それこそグラウンド外から客観的に見て指示を送るのもベンチの仕事だと思います。出場するだけが全員野球・全員ソフトではないと思いますので、何かチームの勝利に貢献できる自分の仕事・役割を探して楽しみましょう。

先日の運営会議でも出ましたが、吸い殻等の後始末は必ず各チームで行い、最後は審判チームがチェックしてください。富士山も世界文化遺産に登録されたことですし、自分たちが出したゴミ以外のゴミも持ち帰り、使う前より美しい状態で返すことを心がけましょう。

クリーンハート！ クリーンファイト！！ クリーングラウンド！！！！